

2026年6月3日  
イオン琉球株式会社



## ～本部町が育んだ豊かなアセローラの成長を願って～ イオン ハートフルボランティア生産者支援清掃実施

6月6日、収穫期を迎えた“本部町アセローラ畑”の収穫・清掃を行います

イオン琉球株式会社（本社：南風原町、代表取締役社長：鯉淵豊太郎）は、「イオン ハートフル・ボランティア」の一環として、6月6日（土）午前10時より、沖縄県北部の本部町にある「アセローラフレッシュ」のアセローラ畑の収穫体験と虫よけとなる月桃の植樹、下草刈りなどの清掃活動を行います。

イオンでは、新しい社会貢献活動の取り組みとして、これまで以上に従業員が地域に根ざした活動をステークホルダーの皆さまと共に推進する「イオン ハートフル・ボランティア」を2022年からスタートしております。

昨年は、2026年の正殿復元に向け復興が進む首里城公園敷地内「龍潭」周辺の草刈りなどの清掃活動を行い、「見せる復興」として多くの観光客が訪れる中、首里城周辺の美しい景観を維持するお手伝いをさせていただきました。

そして今年は、生産者支援として収穫期を迎えた本部町産アセローラ農園の清掃を行います。イオンは、2012年11月に町内のアセローラ生産者を支援するため「本部町アセローラ果実研究会」を設立し、食と地域を豊かにする「フードアルチザン（食の匠）」活動の一環として地域ブランドの支援をしています。

イオン琉球は、これからも沖縄特有の自然が育む食文化を次世代につなげていくため生産者と地域を応援してまいります。

記

### 《イオン ハートフル・ボランティア 本部町アセローラ畑清掃活動 実施概要》

1. 日 時：2026年6月6日（土）10：00～12：00
2. 場 所：アセローラフレッシュ アセローラ農園（本部町崎本部）
3. 内 容：下草刈り（雑草）、アセローラ収穫、月桃の植樹（虫よけ）

＜次第＞10：00～開会式（本部町文化交流センター2階研修室にて）

主催者挨拶 イオン琉球(株)代表取締役社長 鯉淵 豊太郎

来賓ご挨拶 本部町 町長 平良 武康さま

来賓ご挨拶 (株)アセローラフレッシュ代表取締役社長

並里康次郎さま

農園へ移動（車で10分程度）

10：45 記念撮影

10：50～下草刈り、アセローラ収穫体験

月桃の植樹（虫よけ）

11：50 閉会 解散

4. 参加者：イオン琉球、イオングループ従業員

本部町関係者さま、アセローラフレッシュ関係者さま

合計約30名

以上



～ご参考～

■ 「イオン ハートフル・ボランティア」について

イオンは、新しい社会貢献活動の取り組みとして「イオン ハートフル・ボランティア」を2022年度よりスタートし、それぞれの地域に存在する社会課題の解決へ向けて、イオンの従業員が地域のステークホルダーの皆さまと共に、地域に根ざした継続的なボランティア活動を推進しています。気候変動、資源の枯渇などの環境課題や、少子高齢化による労働力人口の減少、地域コミュニティの衰退といった社会課題など、かつてないほどのスピードで様々な課題が広がりを見せています。その中で、イオンは、従来までの社会貢献の取り組みを更にブラッシュアップし、それぞれの事業活動を行う地域で、持続可能な地域社会の実現に向け、従業員自らが地域の社会課題解決の支援を推進しております。

□ 2022年6月、やんばる国立公園の入り口でもある大宜見村の“道の駅おおぎみ”付近の海岸で、軽石や漂着するプラスチックごみを除去する清掃活動。

□ 2022年11月、沖縄の深刻な環境問題である赤土等の流出から海を守るボランティア活動として糸満市で「グリーンベルト」のベチバー植栽を実施。



大宜見村ビーチクリーン活動



糸満市でグリーンベルト植栽

□ 2023年6月、公益財団法人イオン環境財団とイオン琉球、早稲田大学 AEON TOWA リサーチセンターと八重山環境ネットワーク 環境ボランティア西表エコプロジェクトと協同で、世界自然遺産登録された西表島に大量に流れつく漂着ごみを回収。

□ 2024年6月、公益財団法人イオン環境財団と共に2017年12月に平和祈念公園に約5,300本の植樹をおこなった「イオン 平和の森」に隣接する「瞑想の森」を、6月23日の「慰霊の日」を前に草刈りなどの清掃活動。

□ 2025年5月 2026年の正殿復元に向け復興が進む首里城公園敷地内「龍潭」周辺の草刈りなどの清掃活動を行いました。



西表島ビーチクリーン活動



首里城公園敷地内 龍潭清掃活動

## ■ イオンの「フードアルチザン（食の匠）」活動

フードアルチザンは  
地域の産品を大切にします!



「フードアルチザン（食の匠）」は、「地域の食文化を守る活動をしてほしい」というお声をお客さまからいただき、2001年から取り組んでいる活動です。全国各地で郷土の味を守り続ける生産者の方々とともに、自治体や大学研究機関の協力をいただきながら、日本の優れた食文化の継承に取り組んでいます。2025年11月現在、1道1府28県の41品目で「フードアルチザン（食の匠）」活動を展開しています。

今回 ボランティア活動を行う「本部町産アセローラ」は2012年に「フードアルチザン（食の匠）」活動の一環として、イオンリテール(株)、イオン琉球(株)、本部町、アセローラ生産者で作る熱帯果実研究会の4者で「本部町アセローラ果実販売研究会」を設立しました。沖縄発のフードアルチザン商品として本部町産のアセローラを全国へ発信し、本部町の活性化支援を行っております。

※「フードアルチザン（食の匠）」活動の詳細は、ホームページ (<https://www.foodartisan.jp/>) をご覧ください。



【沖縄県本部町産アセローラ】